

「山と自然のサイエンスカフェ@信州」の展開

街中のカフェなどで飲み物を片手に、くつろいだ雰囲気の中で科学について語り合うサイエンスカフェ。イギリスとフランスではじまり、今では世界各地で行われています。

環境保全研究所では、昨春から新企画「山と自然のサイエンスカフェ@信州」を開催してきました。前号で紹介した第4回までにつづき、今号では残りの第5～7回についてご報告します。会場をご提供くださったcafé MAZEKOZE（カフェ マゼコゼ）さん（長野市善光寺の近く）からもご寄稿いただきました。

この春からは新シリーズを予定していますので、ご期待ください！（巻末をご覧ください。）

サイエンスが山と自然と人をつなぐ

カフェとは飲み物や食べ物がある場所とは限りません。

カフェマゼコゼで最も大切にしたいこと。それは色々なものや人や出来事が互いに関係しあいながら混ざりあうことによって生じる美しさ。

Artが人の暮らしにとって何かしらの意味を持つとすれば、それはまず第一に、「人は誰も皆、表現しながら生きている」ということに気付くためにあるのだと私たちは考えています。

その意味からすれば、人は皆、表現者であるとも言えますが、中でも信州の山と自然に宿る美しさは、私たちの多くが表現したいと思わせてくれるものの一つです。そんな信州の山と自然がマゼコゼでどのように混ざりあうことができるだろうか、と想っていたところに、サイエンスという思いもしなかつたきっかけでした。サイエンスによって山と自然と人がつながり、混ざりあうことで、信州ならではの美しさに気付くことができました。



（カフェマゼコゼ 小池雅久）

東京銀座で特別編を開催！

ご好評により、「山と自然のサイエンスカフェ@信州」“東京特別編”を12月9日、1月9日、2月6日の3回開催しました。会場は、昨秋オープンした「銀座NAGANO～しあわせ信州シェアスペース」。マゼコゼさんでの第5回までのハイライト編で、首都圏などからのみなさんと語り合うことができました。



会場「銀座NAGANO」の入り口



銀座での「山と自然のサイエンスカフェ@信州」の様子